

ソーシャルボンド レポート(2024年9月末時点)

資金充当状況レポートおよびインパクトレポートについて、以下の通り開示します。

1. 資金充当状況レポート

適格プロジェクト	概要（進捗状況）	充当額	未充当額および充当予定期
茨城県つくば市における物流センターの建設・設営（アルフレッサ株式会社）	2024年5月7日から稼働開始	34.4億円	充当完了
群馬県太田市における医薬品製造棟の建設・運営（アルフレッサファーマ株式会社）	2024年1月30日 詳細設計完了 2026年4月稼働開始予定	8.5億円	未充当額157億円※ 2026年4月までに充当完了予定
	合計	42.9億円	157億円

※充当額については、小数点第二位以下を四捨五入して表示しております

※未充当額については、現金又は現金同等物にて管理することとしております

2. インパクトレポート

適格プロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト
茨城県つくば市における物流センターの建設・設営	BCP（事業継続計画）対応機能 <ul style="list-style-type: none">建物全体に免震構造を採用し、震度6強などの地震の際も、建物への被害を軽微なレベルに抑えることが可能72時間稼働が可能な大型非常用電源設置給水・排水が遮断された場合を想定して受水槽設備を設置	・物流センターからの医薬品供給対象となる医療機関数：1万以上 ・災害時においても医薬品を安定的に供給可能	平時・災害時を問わず、的確な医療へのアクセスを実現

群馬県太田市における医薬品製造棟の建設※・運営	医薬品製造棟の機能 ・低分子医薬品の生産能力の増強 ・新たな低分子棟の建設 ・医療用医薬品のみならず OTC製剤にも対応する製造機器を揃える ・高薬理活性製剤の受託製造体制の整備 ・ハザード物質の高度な封じ込め機能を備えた高薬理活性棟の建設 ・無菌製剤の検査・包装・試験受託体制の整備 ・抗体医薬などに代表される無菌製剤の保管のために、無菌状態を保ち製品の品質を確保するクリンルームとして冷蔵倉庫棟を建設	医薬品製造棟における生産量 ・低分子医薬品（経口固形剤）の生産能力の増強：年間約20億錠から約36億錠に拡大予定 ・高薬理活性製剤の受託製造体制の整備：抗がん剤やホルモン製剤などの経口固形剤が最大で年間約4億錠の生産能力を備える予定 ・無菌製剤の検査・包装・試験受託体制の整備：バイアル、アンプル、シリソジなどの規格について、ラベリング、包装、保管、外観検査を実施可能な体制を整備する予定。冷蔵倉庫棟では、2°C-8°Cの保管温度で約160パレットの保管が可能	医療の高度化による健康寿命の延伸
-------------------------	---	---	------------------

※アルフレッサ ファーマ株式会社 群馬工場内に新棟を3棟建設中：群馬県太田市における医薬品製造棟は、建設中ではありますが、すでに多数の製薬企業様より製造委託に関する問い合わせ等をいただいております。同製造棟は2025年に建設を完了し、2026年4月の稼働を目指しております。低分子医薬品の製造能力の増強や、新たに高薬理活性製剤の受託製造、および無菌製剤の検査・包装・試験受託への本格参入を図るとともに、当社グループのトータルサプライチェーンサービスにおける開発から製造までの機能の強化と拡大へとつなげます。当社グループは、多様なモダリティの医薬品を、それらを必要としている医療機関や患者様に「安心」「安全」「誠実」にお届けできる体制をより強固にしてまいります。